

令和3年度 自己評価

I 「保育の計画性」についての検証及び改善策

園の教育理念や教育方針について研修を通して職員間で話し合いをする機会があり、共通認識を持つ事が出来た為、園の方針を指導計画や保育の中に生かすことが出来ている。教育要領については職員間で話し合いをする機会は少なかったが職員各自が社会状況や子どもの実態に合わせて保育計画の見直しをする事が出来た。

II 「保育への在り方、幼児への対応」についての検証及び改善策

引き続き子どもの健康と安全への配慮は各教職員の評価が高く、自信を持って新型コロナウイルスへの感染防止・衛生面対策が行われている。また、流行状況に合わせて常に対応を見直し共通認識の元対応出来ている。職員は1人ひとりの子どもの話をよく聞き、良さを認めてあげられるような声掛けを心掛けている。

III 「保育者としての資質や能力・良識・適正」についての検証及び改善策

今年度も新型コロナウイルスに関する社会の出来事等についてたえず情報をとらえようとする姿勢が各教職員から感じられた。引き続き子どもの健康管理を第一に考えて迅速に対応し、健康観察カードの確認、検温、消毒等丁寧な対応も出来ていた。また、職員自らの健康・安全にも配慮し生活することが出来ていた。

IV 「保護者への対応」についての検証及び改善策

怪我やトラブル、クレームが起きてしまった際の報告、対処、周知、伝達を心掛け、園全体で把握し、対応できていた為に各個人の評価も高い。例年通りの参観や行事が出来ない事もあったが昨年に比べ形を変えてなるべく開催できるようにし、密を避け安全面に配慮し保護者へ子どもの様子を伝える工夫が出来たと思う。

V 「地域の自然や社会との関わり」についての検証結果及び改善策

今年度も入園説明会は毎月行うことが出来ていたが園庭開放の場所の制限やイベント日の中止等があり、各職員の評価が低い。新入園児との交流等の行事は中止になってしまったが来園した際や電話での丁寧な対応を心掛け、新入園児の保護者にも安心して頂けるよう配慮する事が出来ていた。

VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

今年度も新型コロナウイルスの影響で研修自体の実施が少なかったが開催された研修についてはリモートで参加したり、各職員が自分の意見を発表する機会があり、話し合いをして意見交換する事も出来た。研修の機会が減っている為、職員各自で専門的な知識や技術を身につけられるよう研修や研究を行っていききたい。